

議 事 録（ 要 旨 ）

会議の名称	第 2 回上牧町学校適正化協議会会議
開催日時	令和 7 年 10 月 28 日 午後 1 時 30 分から
開催場所	上牧町役場 本庁舎 3 階 委員会室
出席者 (委員等)	会長、副会長 委員：各小学校 PTA 協議会会長 3 名、自治会代表 3 名、 各小学校長 3 名、一般公募町民 2 名
出席者 (事務局等)	(オブザーバー) 教育長 (事務局) 教育部理事、教育総務課長、教育総務課長補佐、 教育総務課 主事
傍聴の有無	3 名
会議の議事	1. 開会 2. 教育長あいさつ 3. 小学校統合に関する検証について 4. その他(連絡事項等) 5. 閉会
会議資料	・ 「資料 No.2-1：上牧町の児童数と人口の状況について」 ・ 「資料 No.2-2：上牧町学校適正化基本計画推計と児童数実績との対比(令和 4 年度～令和 7 年度)」 ・ 「資料 No.2-3：児童数推計資料(令和 7 年度版)」 ・ 「資料 No.2-3(別紙①)：児童数推計結果(小学校別・学年別)」 ・ 「資料 No.2-3(別紙②)：児童数推計結果(地区別・学年別)」

決 定 事 項	・ 令和４年３月策定「上牧町学校適正化基本計画」において示された小学校の配置方針を白紙に戻し、改めて統合の方針を検討していく。
特 記 事 項	なし
次 回 日 程	未定

内 容（ 要 旨 ）

1. 開会

事務局 定刻により開会する。

 まず、本協議会は「上牧町審議会等の設置及び運営に関する規則」第10条の規定に基づいて公開とするほか、同規則第12条の規定に基づき傍聴可としている。また、会議録作成のためICレコーダーで録音している。これらのことについてご了承いただきたい。

 それでは、配付資料について確認する。

（事務局が配付資料を確認）

2. 教育長あいさつ

事務局 それでは、開会に当たり教育長からあいさつをお願いする。

（教育長からあいさつ）

事務局 それでは、ここからの議事進行は会長にお願いする。

3. 小学校統合に関する検証について

会長 本日は小学校統合に関する検証として、児童数の状況・推計等に基づく検証を行うこととなっている。それでは、事務局から資料の説明をお願いします。

(事務局から資料について説明)

会長 ただいまの説明について、質問等はあるか。

事務局 資料 No.2-3 で示しているように、上牧小学校及び上牧第三小学校で児童数が減少し、上牧第二小学校では児童数を維持できるという傾向は大きく変わらないかと考えている。そのため、計画で示している上牧第二小学校を廃校とするという方向のまま進めていくことは難しいかと思う。しかし、計画を策定してからの３年間で状況が大きく変わっており、今後の３年間でも状況が変わる可能性があることから、基本的な考え方として、今後どのような状況になった場合に統合を検討していくのかについてもあわせて協議いただければと思う。

会長 ほかに質問等はあるか。

委員 学級数が減少すると、先生の数も減少することになるが、そのような状況の中で支援学級に入級する児童数が増加していくと、大変な状況になっていくかと考える。検討の観点として、単学級のみに重きを置くのではなく、支援学級等の状況も踏まえる必要があるかと思う。

会長 支援学級に入級する児童数については、将来展望が難しいところがあるが、単学級について検討する際のその人数の取扱いについてのご意見をいただいた。

 先程事務局から説明があったように、３年間で状況が変化し、前回のデータと今回のデータでは数値が大きく異なっている。そのため、今後も統合も含んだ学校適正化

を再検討しなければならないことが起こり得ることから、学校をどのようにするかということについては行政での判断となるが、本協議会においては人数や施設等を踏まえつつ、どのように学校適正化を考えていくべきかについて検討できればと思う。

ほかに資料に関して質問等はないか。

委員

説明いただいたように３年間で状況が変わっており、見通しが立たない状況となっている。全学年が単学級となることが１つの条件であるならば、上牧小学校で令和１８年度、上牧第三小学校で令和１５年度と予測されており、少なくともあと８年は全学年が単学級とはならないと予測されることから、あと３年程度様子を見てもよいのではないかと思った。

委員

上牧第二小学校では２学級を維持できる見込みであることを知り、安心している。このように学級数を維持できるようになった要因を考察することが大切であると考ええる。今後の児童数の増減を考える糸口になると思うため、本協議会だけではなく、行政とともに考えていければと思う。

会長

あと３年程度様子を見てもよいのではないかというご意見と、増加した児童数とその背景の分析について聞ければとのご意見をいただいたが、児童数増加の背景については事務局ではどのように考えているのか。

事務局

上牧第二小学校区に絞って要因を説明させていただく。先程も説明させていただいたが、この直近で、下牧

3丁目と桜ヶ丘2丁目において開発があり、新しい住宅が建っていることにともない、年少人口が増加している。そのことによって児童数も増加しているため、その傾向が反映された推計となっている。また、上牧第二小学校では、今年度よりも来年度の方が児童数が増える見込みである。さらに、減少が危惧されていた片岡台地区においても、減少していない。このような状況が維持された場合、女性の数も維持され、それにともない出生数も多くなる見込みとなることから、児童数が維持または増えるという推計となっている。

会長 開発が1つの明確な原因であるとの説明であった。今後、町行政の方向性として開発を考えていくのであれば、本協議会において、適正化を含めた教育環境の充実を考え、工夫し、住みたいと思われる場所となり、それによって開発が進み、人口が増加するという事を見据えた町への提言を今後の会議の中でできればと考えている。

 ほかに資料に関して質問等はないか。

(質問等なし)

会長 なお、このような推計データについては、数年の間に変化するものであるということをお含みおきいただきたい。

会長 先程、学校の配置についての意見をいただいたが、適正化について、ほかに意見等はあるか。

委員 数年前に義務教育学校化の案が出ていたかと思うが、

中学校の統合と小学校の適正化の話が進む中でどのようなになったのかという意見を上牧小学校区の保護者の方からいただいた。そのため、この点について回答いただければと思う。

事務局

今の学校適正化基本計画においては、義務教育学校について深く言及していない。しかし、基本的な考え方として、新しい中学校舎の建設にあたり、将来的に義務教育学校にするとした際に、対応不可能とはならないようにするということで進めている。今後、本協議会において小学校の統廃合を検討する中で、どのような学校の在り方がよいのかについて、義務教育学校も含め、次回以降検討いただければと思う。

会長

当初の予定では、次回の検討事項として義務教育学校が含まれている。前回の計画の中では、そのような形も適正化の一つの形として取り上げるということであったが、先のことは分からず、将来的に人口が変動し、どのように対応すべきかを考える中で、義務教育学校化することに対して、保護者の方や町民の方がどのような意見を持っているかを把握しておくことは大切だと思う。

事務局

次回の会議では、義務教育学校がどのようなものであるのかといった説明をさせていただき、そのことを踏まえ、協議いただければと考えている。

会長

可能であれば、そのような形で次回の会議を進めていただければと思う。

ほかに意見等はないか。

委員

令和４年に小学校の統合に関する方針として、令和１１年度から令和１３年度に小学校を統合し、上牧小学校と上牧第三小学校を残すということを示されているが、当初推計したところ、上牧第二小学校の児童数の減少が見込まれることから、上牧第二小学校を廃校するということになったということで間違いないか。また、今回の推計で、当初とは異なり、上牧第二小学校の児童数が増加することが見込まれるため、令和４年に策定された小学校の統合に関する方針は覆されると考えてよいのか。小学校の統合については、住民の方から、上牧第二小学校が廃校することで決定したのかという質問をよくされるため、このことについて回答いただければと思う。

事務局

前回の会議でも説明させていただいたが、現状としては、小学校を３校から２校にするという計画となっているものの、本協議会において、現状の計画のまま学校適正化を進めるかについて議論いただくことになるため、最終決定はしていないという状況である。本日、児童数についての資料を提示させていただいたが、児童数のみを検討材料として判断するものではなく、様々な観点から議論を交わしたうえで最終的な方針を決定したいと考えている。しかし、児童数という観点からのみ考えると、今の計画のまま進めるということはできないものと思っている。

会長

３年前の決定は、「方針」であることをお含みおきいただきたい。あくまで、「方針」であり、「決定」ではない。今回の協議会においても、令和４年の方針の妥当性につ

いて検証したうえで、最終的な方針を決定するという
ことであり、廃校等を決定するということではない。その
ため、委員の方に対して、現在どのようになっているの
かという質問があった場合には、万が一、方針とは異なる
決定となった場合のことを考えると、決定はしていない
とお答えいただくのが最も正確かと思う。また、現在
予定されている5回の会議の中で検討を重ねたうえで、
本協議会としての最終的な方針を提示できるようにした
と考えている。そして、人数という観点は大きなもの
だと考えるものの、確実な予測が不可能であることから、
人数のみで方針を決定することには状況が変化してしま
うという危険性があるため、様々な観点から検討し、今
後、学校適正化を考える際の方針を考えていければと思
う。そのため、最終的な方針がどのようになるかは別と
して、皆さんの意見をいただければと思う。

ほかに意見等はないか。

委員

方針として示すと、一般の住民の方は、このように動
いていくものと受け止めてしまう。実際に、上牧第二小
学校が廃校となり、児童は上牧第三小学校にいくとの憶
測が飛び交っている。そのような話を聞いた際には、そ
うではないと伝えているものの、地域ではそういうこと
になっているように感じている。

小学校の統廃合については、以前の協議会やその時に
策定された方針を見ていると、上牧第二小学校を廃校と
するよう感じられた。今回算出された児童数の推計デ
ータが前回のデータとは異なる結果となっており、上牧
第三小学校でもいずれ単学級になっていくことが示され
ているため、統廃合の対象になる当事者として考えてい

く必要があると深く感じている。

どの地域に住むかを考えるにあたっては、その地域に学校があるのかということが重要になると考えている。そのため、小規模であったり、少人数であったりすることはよくないこととして、他の市町村と同様に統廃合によって複数学級の学校としていくのではなく、小規模であることや少人数であることにもメリットはあると思うことから、町の魅力の一つとしてまちづくりを進めていくことはできないものかと考えている。

会長

2点の事柄について、提起いただいた。まず、既に様々な形で取り組んでいただいているものと思うが、適切に発信をしていくことは大切なことであるため、難しいとは思いつものの、住民の方にしっかりと理解していただける工夫をお願いしたいと思う。次に、適正化に関する新しい観点として、学校が地域にあることの魅力を提起いただいたが、コスト面や先生方の配置等も含めて検討する必要があるかと思う。そのため、適正なよりよい教育環境をつくっていく一つの工夫として、今後検討を重ねていきたいと思うが、事務局としてはいかがか。

事務局

委員がおっしゃられたように、住む場所を選ぶ際に、学校の有無は判断材料になると考える。また、少人数にもメリットはあるものとも思う。本日は児童数という観点での議論を予定して資料を用意していたため、今後、学校の在り方について、議論を交わしつつ、考えていければと思っている。

会長

ほかに意見等はないか。

委員

住民の方から意見を預かっているため、その意見をお伝えしたいと思う。

まず、上牧第二小学校が廃校となると通学距離が最も長くなる片岡台1丁目の方からは、幼稚園を卒園したばかりの小学1年生が猛暑の中、重いランドセルを背負って長い距離を通学することに対して、体への負担が大きくなるため、不安に思うという声をいただいている。また、学校が遠くなることにより、不登校気味の子がより一層学校から足が遠のいてしまうのではないかと心配されている。くわえて、学校が廃校となると、若い世代の流入がなくなることにも危惧されている。そして、単学級になったとしても、少人数できめ細かな指導ができ、よいのではないかという意見もいただいている。

次に、学校支援ボランティアの方からは、ボランティア活動があることで毎日外に出る機会ができており、子どもたちから毎日元気をもらっているが、学校がもし遠くなるとボランティアには行けないため、上牧第二小学校をなくしてはいけないという意見をいただいている。つまり、学校は、単に教育の現場であるだけではなく、地域の方、特にシニア世代で学校支援ボランティアとして社会参加し、生きがいを得ている方にとっては、地域の福祉の拠点にもなっている。学校は子どもだけでなく、地域の大人も育てている大切な場所であり、シニア世代や高齢者の方の健康と生きがいを支え、地域を守り育てていく場所であることから、統廃合によってその場を失うことは、地域コミュニティの衰退にも直結するとの意見をいただいている。

今回の児童数推計データによると、上牧第二小学校で

は児童数に大きな変化がない状態で推移していく見込みであることから、なぜ当初と異なり、維持していく見込みとなったのかということを考えつつ、協議会も行政もともに包括的に様々な施策に取り組み、より高みを目指していくことによって、これから未来をつくっていく子どもたちや町全体の活性化につながるのではないかという意見もいただいた。

事務局

まず、統合によって通学距離が延びることを心配されている意見があるとのことであったが、中学生であっても心配の声が挙がっているため、小学生となると、よりそのような声が挙がるものと認識している。そのため、小学校を統合すると決定した際には、学校統合準備委員会等でどのように通学支援を実施するかについての議論を交わす必要があると考えている。次に、少人数であるときめ細かな体制をとることが可能との意見があるとのことであったが、現状の学校適正化基本計画では、基本的な考え方として小規模化のデメリットを解消するために統合をずしておき、実際に中学校の方ではその考えに立って進めているところである。小学校においてもその考えに立って、統合について学校適正化基本計画で示されているが、今回、統合の方針を決定していく中で、小規模化に関しての議論もしていただければと思う。今後、児童数がおそらく全体的に減少していき、再び統合について検討する時がやってくると思うため、小規模化に関する観点も持ち合わせたうえで検討していただければと思う。

会長

ほかに意見等はないか。

委員 先日、へき地の少人数の学校の研究大会に参加させていただいた際に、少人数であると、家族のように、皆が生まれた時から中学校を卒業するまで一緒となるため、自分も相手も何も言わずとも互いのことが分かるという強みがある反面、その環境から外に出た際に、自分の意見を言えなかったり、世間とのギャップに苦しんだりすることがあるという話をされていた。そのため、少人数という環境には良し悪しがあると感じている。

会長 ほかに意見等はないか。

教育長 本協議会については、令和４年３月に策定された学校適正化基本計画を令和７年度の人口推計等によって再度見直していくという趣旨であったかと思う。本日の会議の議事録については、１回目の会議の議事録と同様にホームページにてお示しすることになると思うため、住民の方に不安を与えないような内容で発信できるように、上牧第二小学校の廃校ありきとして進めていくのではなく、再度検討し直すということを明確にお示ししたいと考えている。また、教育長に就任させていただいて以来、多くの人と交流することにより、上牧の子どもたちの人間力を高めていきたいと考えている。その多くの人の中には、子ども同士ももちろんであるが、大人も含まれる。そのため、近頃、学校を核とした地域活性化がよく言われているが、そのような取組については、私の見る限り、上牧町内ではこれまでもそれぞれの小学校において行われてきていると思うことから、改めて、各自治会の代表の方もおられることもあり、各地域で認識いただいてい

る学校の役割や機能がどのようなものか、学校に期待することとは何かをお聞かせいただき、教育行政の参考とさせていただければと考えている。

会長

今回、決を採るということではないが、おっしゃっていただいたように議事録が発信元となるので、今回のまとめをさせていただきたいと思う。今回、人口の動向を確認させていただいたところ、上牧第二小学校に関して、当初の方針において廃校となると読み取れる部分については、白紙に戻す。そして、上牧第二小学校が廃校となるということが前提にあるのではなく、適正化について様々な観点から考えていくということとする。今回の人口を観点として検討については、このことを総意として掲載させていただいてよいか。

(異議なし)

会長

異議なしということで、議事録の作成をお願いします。
次回の会議については、地勢と義務教育学校についての検討が予定されている。本日の会議において、上牧第二小学校を廃校とするという方針が白紙に戻ったため、上牧町の小学校の配置として、どの学校の子がどのように暮らすとしても、最も適正となる状況をつくるという観点で検討できればと思う。また、次々回の会議については、学校施設についての検討が予定されている。どこに学校を配置し、建物を建てるか、または、既存の校舎を維持、改修するのかということを検討するとすると、地勢と学校施設は一体化して検討することとなる。

教育長もおっしゃられたように、特に小学校において

は、コミュニティの核として、地域との関係性を非常に大事にしなければならなくなっている。今後の会議において、委員の皆様方から様々な意見をいただければと思う。

会長 小学校統合に関する検証については、以上でよいか。

(異議なし)

4. その他（連絡事項等）

会長 続いて、「その他（連絡事項等）」について、委員または事務局から何か連絡事項等はあるか。

事務局 次回の会議では、おっしゃっていただいたように、地勢や義務教育学校、小中一貫について検討いただきたいと思っている。お忙しいとは思いますが、ご出席いただければと思う。

会長 ほかに連絡事項等はあるか。

(連絡事項等なし)

会長 それでは、本日の案件事項は以上となるため、事務局に進行を移したいと思う。

5. 閉会

事務局 以上をもって、第2回上牧町学校適正化協議会会議を

閉会する。

以上